

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-194686  
 (43)Date of publication of application : 21.07.1999

---

(51)Int.CI. G03G 21/02  
 B41J 29/38  
 G03G 21/00  
 G06F 13/00  
 H04N 1/34

---

(21)Application number : 10-279749 (71)Applicant : CANON INC  
 (22)Date of filing : 01.10.1998 (72)Inventor : NAKAJIMA YASUSUKE

---

(30)Priority

Priority number : 09311392 Priority date : 27.10.1997 Priority country : JP

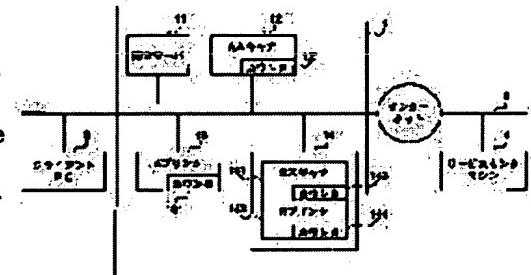
---

**(54) ACCOUNTING DEVICE, ACCOUNTING METHOD AND STORAGE MEDIUM**

(57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To realize efficient and detailed accounting by providing a centralized control machine periodically and synthetically controlling totalling data consisting of the content of service, a counter value and client information from plural accounting servers.

**SOLUTION:** Each device constituting an input/output system on a network updates a counter for accounting provided inside each device in accordance with the detailed content of the service required by operation designated from the client and prepared for every client corresponding to the content of the service. The accounting server 11 decides whether or not accounting information collecting time comes. Such deciding processing is performed by using an internal timer. When the collecting time comes, the accounting information is collected. In such a case, the counted values of counters 121, 131, 143 and 144 are collected and totalled. It is possible that the server 11 outputs the respective counted values together with ID information showing the server 11 to a service center machine 4 so as to collect the information.




---

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office









各賃金用カウンタのカウント値を収集する収集ルーチンとを記憶している。

[0044] また、請求項3・6記載の発明では、請求項3記載の前記収集ルーチンを複数記憶し、該複数の収集ルーチンにより収集された前記各賃金用カウンタのカウント値を、対応する収集ルーチンの搭載装置を示す情報、及び対応する入／出力処理の処理内容を示す情報を共に収集して集中管理する管理ルーチンを記憶している。

[0045] また、請求項3・7記載の発明では、請求項3・6記載の前記管理ルーチンは、収集した前記各賃金用カウンタのカウント値に対して、それぞれ対応する入／出力処理の内容別に重み付けされた値を算出し、各カウント値に対する収集ルーチンの搭載装置を示す情報、及び対応する入／出力処理の処理内容を示す情報を共に収集して集中管理する管理ルーチンを記憶している。

[0046] また、請求項3・8記載の発明では、請求項3・6記載の前記複数の収集ルーチンは、それぞれ収集した前記各賃金用カウンタのカウント値に対して、それぞれ応する／出力処理の内容別に重み付けされた値を算出し、各カウント値に対する収集ルーチンの搭載装置別に集計する集計ルーチンを含んでいる。

[0047] また、請求項3・9記載の発明では、ネットワーク上のスキャナ、プリンタ等の端数の入／出力装置を使用した組合の対価として賃金処理を行うためのプログラムを記憶する記憶装置であって、前記ネットワーク上のコンピュータから指示に従って実行した後、請求項3記載の前記複数の収集ルーチンを含んでいる。

[0048] また、請求項3・9記載の発明は、ネットワーク上のスキャナ、プリンタ等の端数の入／出力装置を使用した組合の対価として賃金処理を行うためのプログラムを記憶する記憶装置であって、前記ネットワーク上のコンピュータから指示に従って実行した後、請求項3記載の前記複数の収集ルーチンを含んでいる。

[0049] また、請求項4・1記載の発明では、請求項4・0記載の前記管理ルーチンは、収集した前記各賃金用カウンタのカウント値を対応する収集ルーチンを含んでおり、各カウント値に対応する収集ルーチンを含む。

[0050] また、請求項4・2記載の発明では、請求項4・0記載の前記複数の収集ルーチンは、それぞれ収集した前記各賃金用カウンタのカウント値に対して、それぞれ応する入／出力処理の内容別に重み付けされた値を算出し、各カウント値に対する収集ルーチンを含んでおり、各カウント値に対する収集ルーチンを含んでいる。

[0051] また、請求項4・3記載の発明では、請求項3・5～4・2記載の前記ネットワーク上のコンピュータを、使用対象の前記複数の入／出力装置を選択するための選択情報を、ボイントティング操作によって指定可能に表示する表示制御ルーチンを記憶している。

[0052] また、請求項4・4記載の発明では、請求項3記載の前記表示制御ルーチンは、選択された前記複数の入／出力装置の入／出力処理内容と、嵌入／出力処理内容に対応する表示制御ルーチンを記憶している。

[0053] また、請求項4・5記載の発明は、ネットワーク上のスキャナ、プリンタ等の端数の入／出力装置を使用した組合の対価として賃金処理を行うためのプログラムを記憶する記憶装置であって、前記複数の入／出力装置の入／出力装置であって、前記複数の入／出力装置別に重み付けされた値を算出し、各カウント値に対する収集ルーチンの搭載装置を示す情報を表示する表示制御ルーチンを記憶している。

[0054] また、請求項4・6記載の発明は、ネットワーク上のスキャナ、プリンタ等の端数の入／出力装置をカウンタのカウント値に対して、それぞれ対応する入／出力処理の内容別に重み付けされた値を算出し、各カウント値に対する収集ルーチンの搭載装置別に重み付けする収集ルーチンの搭載装置別に集計する集計ルーチンを含んでいる。

[0055] また、請求項4・7の発明では、請求項3記載の前記複数の収集ルーチンを複数記憶し、該複数の収集ルーチンにより収集された前記各賃金用カウンタのカウント値を対応する更新ルーチンと、前記各更新ルーチンにより更新された前記各賃金用カウンタのカウント値を収集する収集ルーチンとを記憶している。

[0056] また、請求項4・8の発明は、ネットワーク上のスキャナ、プリンタ等の端数の入／出力装置を示す情報を示す情報、及び対応する入／出力処理の処理内容を示す情報、及び利用者を示す情報と共に収集して集中管理する管理ルーチンとを記憶している。

[0057] また、請求項4・9の発明では、請求項3記載の前記複数の収集ルーチンを複数記憶し、該複数の収集ルーチンにより収集された前記各賃金用カウンタのカウント値を対応する更新ルーチンと、前記各更新ルーチンにより更新された前記各賃金用カウンタのカウント値を収集する収集ルーチンとを記憶している。

[0058] また、請求項4・10の発明は、前記複数の収集ルーチンから指示に従って入／出力処理内容と、嵌入／出力処理内容と、上記処理工程及び／又は既定工程による処理工程に基づいて賃金を行なう賃金工程とを備えている。

[0059] また、請求項4・11の発明は、前記複数の収集ルーチンから指示に従って入／出力処理内容と、嵌入／出力処理内容と、上記処理工程及び／又は既定工程による処理工程に基づいて賃金を行なう賃金工程とを備えている。

[0060] また、請求項4・12の発明は、前記複数の収集ルーチンから指示に従って入／出力処理内容と、嵌入／出力処理内容と、上記処理工程及び／又は既定工程による処理工程に基づいて賃金を行なう賃金工程とを備えている。

に接続され、賃金カウンタと、前記ネットワーク上のコンピュータからの指示に従って入／出力処理内容は賃金操作実行をした場合に前記賃金カウンタを更新する更新手段とを各々有する入／出力装置を使用した場合の均等として賃金処理を行なうプログラムを記憶する記憶装置と、前記各賃金用カウンタのカウント値を算計する算計ルーチンを記憶している。

[0061] また、請求項5・3の発明は、前記算計ルーチンを複数個、これら複数の算計ルーチンによる算計結果を収集して集中管理する管理ルーチンを記憶されている。

[0062] また、請求項5・4の発明は、データの処理を行なう処理手段と、処理のための環境設定処理を行なうための既定手段と、上記処理手段及び／又は既定手段による処理動作に基づいて賃金を行なう賃金手段とを備えている。

[0063] また、請求項5・5の発明は、前記環境設定処理は、色補正のためのキャリブレーションである。

[0064] また、請求項5・6の発明は、データの処理を行なう処理手段と、処理のための環境設定処理を行なう処理手段と、上記処理手段及び／又は既定手段による処理手段に基づいて賃金を行なう賃金手段とを備えている。

[0065] また、請求項5・7の発明は、前記環境設定処理は、色補正のためのキャリブレーションである。

[0066] また、請求項5・8の発明は、データの処理を行なう処理手段と、処理のための環境設定処理を行なう処理手段と、上記処理手段及び／又は既定手段による処理手段に基づいて賃金を行なう賃金手段とを備えている。

[0067] また、請求項5・9の発明は、前記環境設定処理は、色補正のためのキャリブレーションである。

[0068] また、請求項4・8の発明は、前記環境設定処理は、色補正のためのキャリブレーションである。

[0069] また、請求項4・9の発明は、前記複数の収集ルーチンから指示に従って入／出力処理内容と、嵌入／出力処理内容と、上記処理工程及び／又は既定工程による処理工程に基づいて賃金を行なう賃金工程とを備えている。

[0070] 3は入／出力賃金システム1を使用するユーザーが用いるクライアントPCであり、入／出力装置へ指示を与えるアドレスを、コンピュータにより構成されている。

[0071] 入／出力賃金システム1内の1は、後述する各装置内の賃金用カウンタ値を定期的に参照して収集される賃金サーバから賃金情報を収集して管理を行なうサービスエンターバスであり、コンピュータにより構成されている。

[0072] 13はクライアントPC3からの指示に従ってプリントを行う機能を有するAプリンタであり、13はAプリンタ13により1頁プリントを行う際に更新されるカウンタである。14はBスキャナ14-1、Bプリンタ14-2から構成される複合機(複合写真)であり、複数として機能するだけではなく、それが独立して入／出力装置として機能することも可能である。Bスキャナ14-1はAスキャナ12と同様に、クライアントPC3からの指示に従ってスキャナを行う機能を有している。14-3はBスキャナ14-1により1頁スキャンを行なう機能である。14-4はBスキャナ14-1により1頁プリントを行う際に更新されるカウンタである。このAスキャナ12は、スキャナ画像データを指示元のクライアントPC3へ上記ネットワーク2を経由して送信する機能も有している。

[0073] 13はクライアントPC3からの指示に従ってプリントを行う機能を有するAプリンタであり、13はAプリンタ13により1頁プリントを行う際に更新されるカウンタである。14-1はAスキャナ14-1、Bスキャナ14-2から構成される複合機(複合写真)であり、複数として機能するだけではなく、それが独立して入／出力装置として機能することも可能である。Bスキャナ14-1はAスキャナ12と同様に、クライアントPC3からの指示に従ってスキャナを行う機能を有している。14-3はBスキャナ14-1により1頁スキャンを行なう機能である。14-4はBスキャナ14-1により1頁プリントを行う際に更新されるカウンタである。Bスキャナ14-1は、スキャナ画像データを指示元のクライアントPC3へ上記ネットワーク2を経由で送信する機能も有している。

[0074] 13は、Aスキャナ12と同様に、クライアントPC3からの指示に従ってスキャナを行う機能を有している。14-3はBスキャナ14-1により1頁スキャンを行なう機能である。14-4はBスキャナ14-1により1頁プリントを行う際に更新されるカウンタである。このAスキャナ12は、スキャナ画像データを指示元のクライアントPC3へ上記ネットワーク2を経由して送信する機能も有している。

[0075] 3は、スキャナ画像データを指示元のクライアントPC3へ上記ネットワーク2を経由で送信する機能も有している。

えば会社の団体別に形成されるものであり、図1では3つの入／出力賃金システムを示しているが、ネットワークノード2に複数の入／出力賃金システムが接続されていてもよい。ネットワークバス2には、インターネットも含めて複数のラジオ局を記憶する記憶媒体として賃金処理を行なうプログラムを記憶している。

[0076] 3は、スキャナ画像データを指示元のクライアントPC3へ上記ネットワーク2を経由して送信する機能も有している。クライアントPC3は、入／出力賃金システム1に対する複数の表示制御ルーチンを記憶している。

[0077] 3は、スキャナ画像データを指示元のクライアントPC3へ上記ネットワーク2を経由して送信する機能も有している。クライアントPC3は、入／出力賃金システム1に対する複数の表示制御ルーチンを記憶している。

[0078] 3は、スキャナ画像データを指示元のクライアントPC3へ上記ネットワーク2を経由して送信する機能も有している。クライアントPC3は、入／出力賃金システム1に対する複数の表示制御ルーチンを記憶している。

[0079] 3は、スキャナ画像データを指示元のクライアントPC3へ上記ネットワーク2を経由して送信する機能も有している。クライアントPC3は、入／出力賃金システム1に対する複数の表示制御ルーチンを記憶している。

[0080] 3は、スキャナ画像データを指示元のクライアントPC3へ上記ネットワーク2を経由して送信する機能も有している。クライアントPC3は、入／出力賃金システム1に対する複数の表示制御ルーチンを記憶している。

[0081] 3は、スキャナ画像データを指示元のクライアントPC3へ上記ネットワーク2を経由して送信する機能も有している。クライアントPC3は、入／出力賃金システム1に対する複数の表示制御ルーチンを記憶している。

[0082] 3は、スキャナ画像データを指示元のクライアントPC3へ上記ネットワーク2を経由して送信する機能も有している。クライアントPC3は、入／出力賃金システム1に対する複数の表示制御ルーチンを記憶している。

[0083] 3は、スキャナ画像データを指示元のクライアントPC3へ上記ネットワーク2を経由して送信する機能も有している。クライアントPC3は、入／出力賃金システム1に対する複数の表示制御ルーチンを記憶している。

[0084] 3は、スキャナ画像データを指示元のクライアントPC3へ上記ネットワーク2を経由して送信する機能も有している。クライアントPC3は、入／出力賃金システム1に対する複数の表示制御ルーチンを記憶している。

[0085] 3は、スキャナ画像データを指示元のクライアントPC3へ上記ネットワーク2を経由して送信する機能も有している。クライアントPC3は、入／出力賃金システム1に対する複数の表示制御ルーチンを記憶している。

[0086] 3は、スキャナ画像データを指示元のクライアントPC3へ上記ネットワーク2を経由して送信する機能も有している。クライアントPC3は、入／出力賃金システム1に対する複数の表示制御ルーチンを記憶している。

[0087] 3は、スキャナ画像データを指示元のクライアントPC3へ上記ネットワーク2を経由して送信する機能も有している。クライアントPC3は、入／出力賃金システム1に対する複数の表示制御ルーチンを記憶している。

[0088] 3は、スキャナ画像データを指示元のクライアントPC3へ上記ネットワーク2を経由して送信する機能も有している。クライアントPC3は、入／出力賃金システム1に対する複数の表示制御ルーチンを記憶している。

[0089] 3は、スキャナ画像データを指示元のクライアントPC3へ上記ネットワーク2を経由して送信する機能も有している。クライアントPC3は、入／出力賃金システム1に対する複数の表示制御ルーチンを記憶している。

[0090] 3は、スキャナ画像データを指示元のクライアントPC3へ上記ネットワーク2を経由して送信する機能も有している。クライアントPC3は、入／出力賃金システム1に対する複数の表示制御ルーチンを記憶している。



が、本実施形態では上記のサービス内容に応じて設けられた各カウンタのカウント値等の賃金情報を収集する。

【0102】この場合、カウント値元に、予め設定された各サービス機能の単価を掛けて実際の賃金額とする。このサービス機能別の単価情報の例を説明する。

【0103】図15は、Aスキャナ13における賃金表示の例である。図15において、例えば(カラー、マッチングON、3.00dpi、A4)が設定された場合は、カウンタ値に3という重みをつける。この設定でA4をA3に変更した場合は、重みは6となる。賃金の単価としては、例えば重みの値を10倍した金額である30円、60円とする。図16は、Bプリンタ14における賃金表示の例であるが、図15と同様にプリンタ機能に応じて項目を設ける。

【0104】このように、サービス機能に応じた賃金とカウンタのカウント値によって賃金を行う。この場合、実際の賃金額の算出は、賃金サーバ11側で行っても、或いは、サービスセンタマシン4側で行ってもよい。すなわち、賃金サーバ11側で実際の賃金額を算出する場合は、各カウンタ値に対して、それぞれ対応する重みの値を算出し、この乗算値を好みはくは賃金サーバ11のID情報を、該各カウンタ値に対応する処理と共にサービスセンタマシン4により収集させる。

【0105】一方、サービスセンタマシン4側で実際の賃金額を算出する場合は、各カウンタ値に対して、賃金サーバ11のID情報を、該各カウンタ値に対応する処理内容を必ず付随させて、サービスセンタマシン4により収集させるべきである。各サービスセンタマシン4側で賃金額を算出せるのは、サービスセンタマシン4側で上記の重み付けができるようにするためであり、賃金サーバ11のID情報を、該各カウンタ値に対応する処理内容を必ず付随させて、サービスセンタマシン4側で賃金先を特定できるようにするためである。

【0106】なお、賃金情報としては図12、図14においてユーザに表示した料金を、クライアントPC3からサービスセンタマシン4へ直接送信して収集させてもよい。

【0107】サービスセンタマシン4の動作についても、第3の実施形態と同様である。

【0108】このように、第1の実施形態では、第1の実施形態よりも詳細なサービス内容(処理内容)に応じて各装置内部に複数の賃金のカウントを設け、実際に実行した処理内容に対応したカウンタを更新するようにしているので、ユーザにとって公正な賃金システムを提供することができ、かつ効率的な賃金を行なうことが可能となる。

【0109】(第3の実施形態)次に、本発明に係る第3の実施形態について、詳細に説明する。【0110】第3の実施形態では、使用するクライアントPC3毎に、第2の実施形態と同様に、詳細なサービス内容(処理内容)に応じた賃金処理を行うように構成されている。【0111】すなわち、第1の実施形態では、サービスマンが定期的にクライアントPC3を回ってカウンタ値の収集を行う必要がなくなり、効率的な賃金を行なうことができる。また、第2の実施形態では、詳細なサービス内容に応じて賃金を行なうことができる。ところが、これらの場合は、次のような問題が生ずる。すなわち、第1の実施形態では、賃金情報を入出力賃金システムの単位で賃金サーバ11によって収集され、こりの収集情報がサービスセンタマシン4によって算出される。この場合、1つの入出力賃金システム1内の複数のクライアントPC3別に賃金情報を収集することはできないため、各クライアントPC3別に賃金することができる。

【0112】従って、入出力賃金システム1に接続した複数のクライアントPC3毎に賃金情報をカウントするように構成するのが望ましい。そこで、第3の実施形態では、クライアントPC3別に、上記第2の実施形態で示した詳細な賃金情報を保持、収集することにより、クライアントPC3別に賃金できるように構成している。

【0113】以下、第2の実施形態と異なる部分について説明する。図17は、第3の実施形態の入出力賃金システムを構成する各装置に内蔵されるカウンタの構成例を示す概念図である。ここでは、Aスキャナ12のカウンタ構成を示す。図17に示したように、第3の実施形態では、図9に示した第2の実施形態と同様のカウンタが複数個存在する。ここで、Aスキャナ12のカウンタを設けることなく、1つの装置に1つのかウンタを設け、この1つのカウンタを、例えば、図15、図16に示したような、処理内容に対応する重みの分だけカウントアップさせることにより、カウンタの数を減らして、賃金サーバ11による集計処理を大幅に軽減することが可能となる。ただし、この場合は、処理内容に応じたため賃金を行うことは可能であるが、処理内容別に賃金額を算出することはできない。

【0114】図18は、第3の実施形態におけるスキーマ装置の動作を示す流れ図である。

【0115】まず、ステップS150において、クライアントPC3からの自己への指示命令がネットワーク2上を流れているか否かをチェックする。その結果、自己への指示命令が流れていなければ、ステップS150に戻る。自己への指示命令が流れている場合は、ステップS151において、クライアントPC3のIDデータを取得する。このクライアントPC3のIDデータは、

【0116】(第4の実施形態)以下、本発明に係る第4実施形態について、詳細に説明する。

【0117】先述した第2の実施形態が、各装置における装置固有の既定項目に対応したサービス内容に応じてカウントを行い、賃金するよう構成するのに対して、第4の実施形態においては、各装置固有の既定項目とは別の、例えば装置の動作環境を設定させるためのサービス(以降キャリブレーション)を使用するか否かに応じてカウントを行い、賃金するよう構成する。

【0118】従って第4の実施形態の賃金装置においては、基本的な構成は上述した第2の実施形態と同様であるが、入出力賃金システムを構成する各装置に内蔵されるカウンタが、各装置をキャリブレーションする複数個を作成する。既にIDデータが登録されているか否かを判別する。登録されていない場合は、ステップS152ではなく、例えば、クライアントPC3のIPアドレスを直接使用してもよい。

【0119】(ステップS152では、取得したクライアントPC3のIDデータが既に登録されているか否かを判別する。登録されていない場合は、ステップS153において、このIDデータに対応した新規のカウントが、各装置をキャリブレーションする複数個に登録を作成する。既にIDデータが登録されている場合は、ステップS154において、登録データの読み出しが行なう。次に、ステップS155において、指示命令

トPC3毎に、第2の実施形態と同様に、詳細なサービス内容(処理内容)に応じた賃金処理を行うように構成されている。また、第2の実施形態では、詳細なサービス内容に応じて賃金を行なうことができる。ところが、これらの場合は、次のような問題が生ずる。すなわち、第1の実施形態では、賃金サーバ11によって収集され、こりの収集情報がサービスセンタマシン4によって算出される。この場合、1つの入出力賃金システム1内の複数のクライアントPC3別に賃金情報を収集することはできないため、各クライアントPC3別に賃金することができる。

【0120】従って、入出力賃金システム1に賃金情報をカウントするには、各カウンタを対象としないで、第3の形態例では、第2の形態例で説明した情報の他に、クライアントPC3を示すID情報を加える必要がある。

【0121】なお、本発明は、上記の各実施形態に限定されることなく、例えば、ネットワーク上に1つの入出力装置が接続されている場合にも適用することが可能である。また、第2、第3の形態例において、1つの装置に複数のカウンタを設けることなく、1つの装置に1つのかウンタを設け、この1つのカウンタを、例えば、図17に示したように、第3の実施形態で示した詳細な賃金情報を構成する。ここで、Aスキャナ12のカウンタ構成を示す。図17に示したように、第3の実施形態では、図9に示した第2の実施形態と同様のカウンタが複数個存在する。ここで、Aスキャナ12のカウンタを設けることなく、1つの装置に1つのかウンタを設け、この1つのカウンタを、例えば、図15、図16に示したような、処理内容に対応する重みの分だけカウントアップさせることにより、カウンタの数を減らして、賃金サーバ11による集計処理を大幅に軽減することが可能となる。ただし、この場合は、処理内容に応じたため賃金を行うことは可能であるが、処理内容別に賃金額を算出することはできない。

【0122】(第4の実施形態)以下、本発明に係る第4実施形態について、詳細に説明する。

【0123】先述した第2の実施形態が、各装置における装置固有の既定項目に対応したサービス内容に応じてカウントを行い、賃金するよう構成するのに対して、第4の実施形態においては、各装置固有の既定項目とは別

の、例えば装置の動作環境を設定させるためのサービス(以降キャリブレーション)を使用するか否かに応じてカウントを行い、賃金するよう構成する。

【0124】従って第4の実施形態の賃金装置においては、基本的な構成は上述した第2の実施形態と同様であるが、入出力賃金システムを構成する各装置に内蔵されるカウンタが、各装置をキャリブレーションする複数個を作成する。既にIDデータが登録されているか否かに応じて用意される点、及びその制御方法が異なる。

【0125】(ステップS152では、取得したクライアントPC3のIDデータが既に登録されているか否かを判別する。登録されていない場合は、ステップS153において、このIDデータに対応した新規のカウントが、各装置をキャリブレーションする複数個に登録を作成する。既にIDデータが登録されている場合は、ステップS154において、登録データの読み出しが行なう。次に、ステップS155において、指示命令

た点以外は第1の実施形態と同様の構成である。

【0126】(ステップS150において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS150において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0127】(ステップS151において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS151において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0128】(ステップS152において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS152において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0129】(ステップS153において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS153において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0130】(ステップS154において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS154において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0131】(ステップS155において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS155において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0132】(ステップS156において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS156において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0133】(ステップS157において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS157において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0134】(ステップS158において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS158において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0135】(ステップS159において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS159において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0136】(ステップS160において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS160において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0137】(ステップS161において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS161において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0138】(ステップS162において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS162において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0139】(ステップS163において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS163において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0140】(ステップS164において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS164において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0141】(ステップS165において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS165において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0142】(ステップS166において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS166において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0143】(ステップS167において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS167において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0144】(ステップS168において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS168において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0145】(ステップS169において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS169において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0146】(ステップS170において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS170において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0147】(ステップS171において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS171において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0148】(ステップS172において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS172において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0149】(ステップS173において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS173において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0150】(ステップS174において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS174において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0151】(ステップS175において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS175において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0152】(ステップS176において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS176において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0153】(ステップS177において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS177において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0154】(ステップS178において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS178において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0155】(ステップS179において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS179において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0156】(ステップS180において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS180において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0157】(ステップS181において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS181において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0158】(ステップS182において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS182において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0159】(ステップS183において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS183において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0160】(ステップS184において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS184において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0161】(ステップS185において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS185において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0162】(ステップS186において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS186において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0163】(ステップS187において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS187において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0164】(ステップS188において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS188において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

【0165】(ステップS189において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS189において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

る。

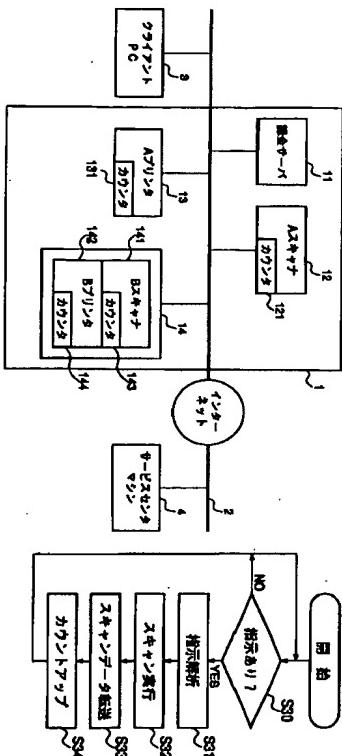
【0166】(ステップS190において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS190において、指

示された各サービス機能の単価を掛けた実際の賃金額とす

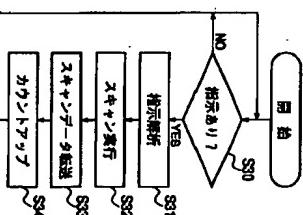
る。

【0167】(ステップS191において、キャリブレーションデータをクライアントPC3へ伝送する。次に、ステップS191において、指

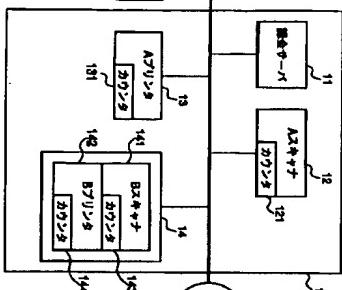




11



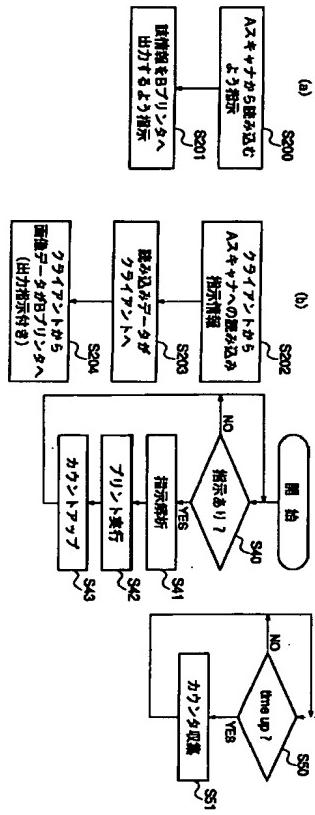
[3]



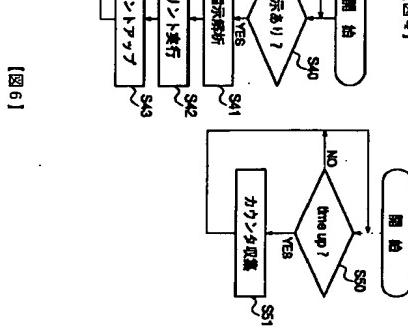
11



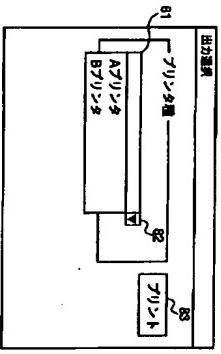
[图2]



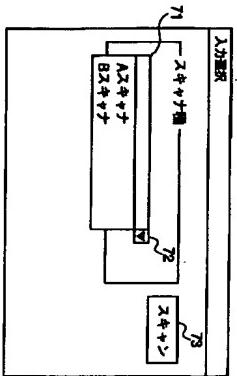
[四五]



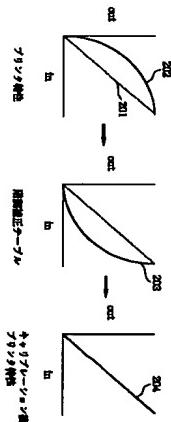
196



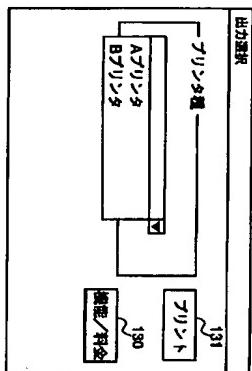
104



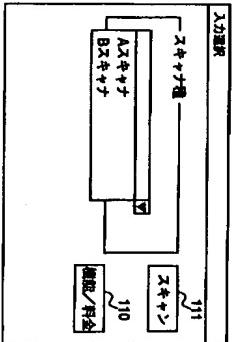
1



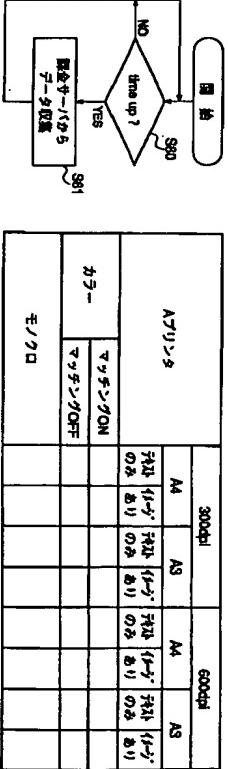
121



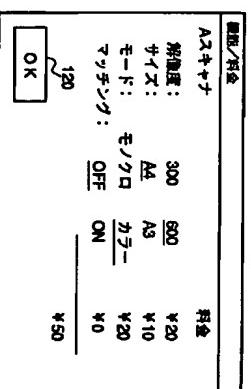
四  
一  
三



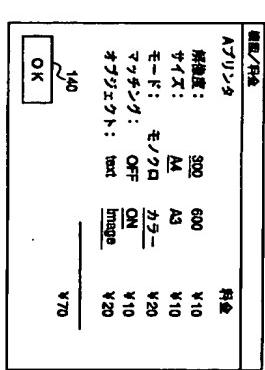
[圖 11]



8



1

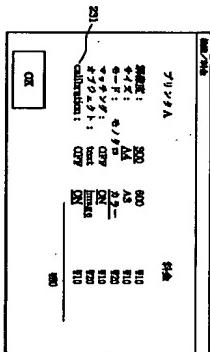


14

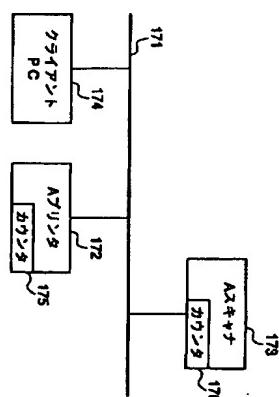
[図1.7]

ユーティD	Aスキャナ	300dpi		600dpi	
		A4	A3	A4	A3
001	カラー	マッチングON			
	モノクロ				
002	カラー	マッチングON			
	モノクロ	マッチングOFF			
003	カラー	マッチングON			
	モノクロ	マッチングOFF			

[図2.3]



[図2.4]



[図2.5]

Bプリンタ	300dpi		600dpi		
	A4	A3	A4	A3	
カラ-	マッチングON	3	4	5	4
	マッチングOFF	2	3	3	4
モノクロ		1	2	2	3
		2	3	2	3
		3	3	3	4

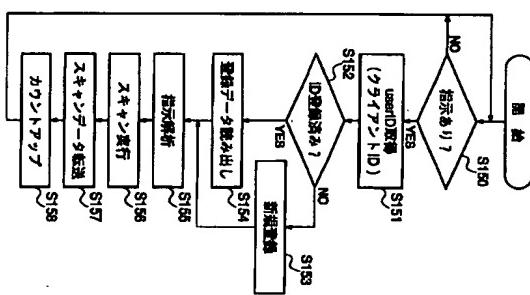
[図1.7]

Aプリンタ	300dpi		600dpi		
	A4	A3	A4	A3	
カラ-	マッチングON	3	4	5	4
	マッチングOFF	2	3	3	4
モノクロ		1	2	2	3
		2	3	2	3
		3	3	3	4

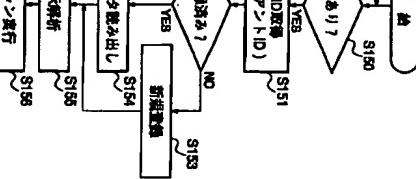
[図1.7]

ユーティD	Aスキャナ	300dpi		600dpi	
		A4	A3	A4	A3
001	カラー	マッチングON			
	モノクロ	マッチングOFF			
002	カラー	マッチングON			
	モノクロ	マッチングOFF			
003	カラー	マッチングON			
	モノクロ	マッチングOFF			

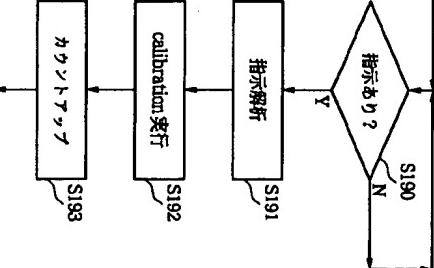
[図2.3]



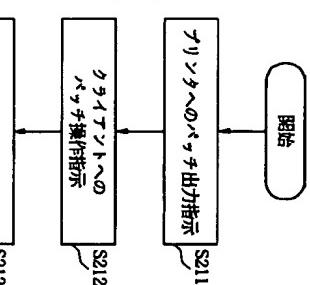
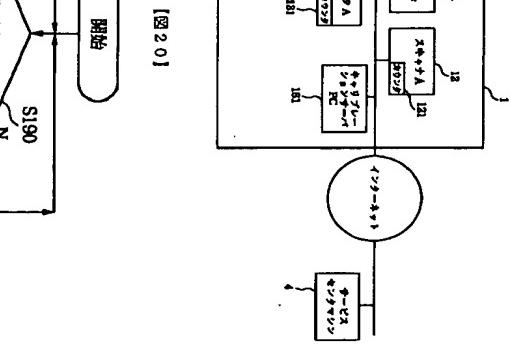
[図1.8]



[図1.8]



[図2.0]



[図2.2]

[図2.2]